

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュ北方2号店		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の広さ、過ごしやすさ	広々とした造りで子どもたちが過ごしやすい空間になっている。 怪我防止のため、スポンジ素材の床材を敷いている。 外にはスロープの設置、室内の段差にもスロープを設置してバリアフリー化をおこなっている。	定期的に安全点検を行い、安心安全に過ごせるように努めていきます。
2	子どもの特性等に合わせた支援	子どもの様子を見ながら、就学に向けて自分できる事を増やしていけるよう支援している。	個々に合わせた支援内容を充実させ、どの職員も行うことができるよう、支援力の向上を図ります。
3	職員の配置	子どもたちの様子に合わせて、職員の人数を調整している。	現在の状況を維持していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい支援、家族支援が不十分である。	親子で参加し保護者同士が交流できる遠足を企画したが、交流の機会であることを押し出していなかった。 きょうだいが参加できる活動を企画してこなかった。	保護者同士の交流の場でもあることを周知させ、企画の内容を充実させていきます。 今後は親子だけでなくきょうだいも参加できる企画の開催について、検討していきます。
2	保護者に向けた研修、ペアレントトレーニング等の開催	保護者に向けた研修、ペアレントトレーニングを現在行っていない。	機会、要望があれば開催について検討していきます。
3	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと交流する機会が無い。	放課後児童クラブや児童館、地域の他の子どもとの交流を現在行っていない。	地域のイベントや公共施設での活動を把握し、適切な行事に参加していきます。